

中山間地・自立モデル検討事業実行計画（三次市）

自家用旅客運送サービス（支えあい交通）を軸とした、“シームレスな乗り継ぎサービス”、“貨客混載輸送サービス”、“地域内移動や住民交流の活性化に資する取組”等を展開することで、持続可能な中山間地型のスマートコミュニティモデルの構築を目指す。

目標

- 支えあい交通サービスの利用件数 175件/年（2019年）→350件/年（2020年）
- 域外移動サービスとの連携 バス1社、タクシー2社以上（2020年）

※支えあい交通の付加価値向上及び、他サービスとの連携等により、2024年までの地域収益黒字化を目指す。

取組概要

多様な事業者の情報を連携し、マルチプロフィットな交通サービスへ

- 支えあい交通サービス**
 - 地域の交通事業者と連携し、地域住民に安価な価格帯で移動サービスを提供
- シームレスな乗り継ぎ**
 - 支えあい交通や地域の交通の運行情報、車両位置情報等をリアルタイムで連携、スムーズな乗り継ぎを実現
- 貨客混載輸送サービス**
 - 宅配事業者と連携し、支えあい交通の車両を活用した荷物の集荷・配送のサービスを実現
- 地域内交流×交通サービス**
 - 支えあい交通と掛け合わせた、地域内のコミュニケーション活性化、互助意識の醸成につながるICTソリューションの導入

ITシステムデータベース

- ドライバーと出荷・集荷サービス利用者のマッチング
- 移動や出荷・集荷の最適な移動手段・ルート探索・提示
- 提示ルートの出発・到着時刻、合計料金の探索・提示等

三次市民

支えあい交通

バス事業者

タクシー事業者

宅配事業者

